

2016 年 9 月 1 日

株式会社ゼンリン

ドローン事業推進のための専任組織を新設 ドローンの自律飛行に貢献する“空の3次元地図”の研究開発に着手

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、産業用ドローンの安全安心な自律飛行に貢献する“空の3次元地図”の研究開発など、ドローン事業を推進する専任組織として、2016 年 9 月 1 日(木)に「ドローン事業推進課」を新設しました。

ドローンは“空の産業革命”と呼ばれ、国内市場は急激な拡大が見込まれています。政府もドローンの産業化に向けて積極的で、2020 年代頃からは都市部を含む地域で自律飛行するドローンが活躍する社会の実現を目指し、必要な技術の開発と環境整備を推進しています。このようなドローンの産業利用への取り組みは民間企業の間でも加速しており、自律飛行を管理する仕組みが必要だと考えられています。

ゼンリンは、住宅地図の整備・提供をはじめ、カーナビゲーション向け地図、スマートフォン向け地図を整備・提供してきました。近年では、あらゆるモノがインターネットにつながる IoT^(※1) 時代に向けて、自動運転向けの高精度3次元地図データや、クルマに最新の地図データを逐次提供する技術の研究開発を進めています。

ドローンに関する取り組みでは、2016 年 5 月にドローンサービスプラットフォーム「Sora Pass」を開始し、ドローンの安全安心な飛行を支援してきました。また、2016 年 7 月には経済産業省が IoT を活用した優れたプロジェクトを選定・表彰する「IoT Lab Selection」で、ゼンリンの「ドローンの都市内安全飛行の実現に向けた3次元地図情報の実証プロジェクト」が準グランプリを受賞しています。この度、研究開発に着手する“空の3次元地図”は、ゼンリンが保有している地形・建物情報をベースに空域情報を3次元化するもので、ドローンの自律飛行において、機体を安全に誘導するための基盤構築を目指します。

※1 IoT(Internet of Things): 様々なモノがインターネットに接続され情報交換することにより相互に制御する仕組み。

■新設部署の概要

1. 部署名 : 第二事業本部^(※2) 第二営業推進部 ドローン事業推進課 (設置場所: 東京本社)

※2 第二事業本部: IOT 事業、ITS 事業、海外事業からなる、地図・位置情報等のコンテンツの提供を通じた、ナビゲーションや IT ソリューションを主要事業とする部門。

2. 設置日 : 2016 年 9 月 1 日(木)

3. 事業内容 : ドローン産業に関わるプレーヤーと連携した技術確立による、“空の3次元地図”の研究開発と事業化の推進。